第5期 地域福祉計画策定のための市民懇談会 結果報告

実施概要

日 時	令和6年11月10日（日） 午後1時30分から午後4時30分まで
場 所	守山市役所 防災会議室
テーマ	『自分とこのまちの未来について考えてみよう♪』
人数	参加者33人、ファシリテーター16人
募集方法	住民基本台帳より無作為に抽出した市民2,000名に案内を送付し、参加を希望する市民がオンラインフォーム・電話等で申込み

懇談会プログラム等

実施方法	7グループに分かれ、ステップごとに付箋を用いた意見交換
プログラム	<p>●ステップ0：参加者への情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健康福祉政策課より現状の説明 <ul style="list-style-type: none"> ・地域共生社会とは ・地域福祉計画の役割 ・守山市の現状（高齢化・世帯の小規模化） ・過去のアンケート結果 ○グループワークについての注意点 ○アイスブレイク <p>●ステップ1：家族以外のコミュニティと関わっていますか？（現状把握）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「家族以外のコミュニティとの関わり」について話し合い。（関わりがない場合はその理由を話し合い。） <p>●ステップ2：多彩なコミュニティで生きがいをもって安心して暮らす（将来の希望・理想像）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域共生社会が目指すビジョンについて共有することで、次のステップの話し合いにつなげる。 <p>●中間発表</p> <p>●ステップ3＞ 変えるためにはどうすれば良いか（解決策・具体策の検討）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アイデア、意見、実際に他市での取組を知っているなど、行政に対する要望ではなく、自身でどういったことができるか（できそう）という視点で話し合い。 <p>●最終発表</p>
講評	龍谷大学 政策学部 只友教授

話し合いステップと主な意見（抜粋）

1 家族以外のコミュニティと関わっていますか？（現状把握）

関わっている	<ul style="list-style-type: none"> ● 近所の人、町内会・自治会、防災会 ● コミュニティカフェ ● 趣味や習い事（ヨガ、ジョギング、ゲーム等） ● 昔からの（学生時代等）友人 ● 職場仲間・仕事関連の関係 ● オンラインでの関係（遠方の友人、ゲームフレンド等） ● 幼稚園のママ友／小学校のイベント
関わっていない	<ul style="list-style-type: none"> ● 関わりなし。仕事と家の往復。 ● アパート住み。地域との関わりがとりづらい。 ● 育休中のため×。

2 多彩なコミュニティで生きがいをもって安心して暮らす。（将来の希望・理想像）

情報発信・つながりの醸成等	<ul style="list-style-type: none"> ● 治安がいい／災害が少ない。 ● 顔と顔が見えること。 ● 自治会活動の参加や在り方の柔軟化。 ● 子どもとお年寄りをつなげる・深くつながれる。 ● 地域生活に付加価値が生まれるもの。 ● 匿名でも関わっていけるコミュニティづくり。
コミュニティ・生きがいがなくともよい	<ul style="list-style-type: none"> ● あえてつながらなくてもよい関係。 ● 生きがいは絶対条件ではない（と思いたい）。 ● 関わりすぎはNG。

3 変えるためにはどうすれば良いか。（解決策、具体策の検討）

個人	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分が楽しめることを探す。 ● 交流会に積極的に参加・意見交換。 ● 行政の施策に興味を持つ／市のHPを見る。
地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 習い事教室（社会人の低価格でお得感を出す）。 ● 守山駅だけでなく、北部にもにぎわいが…。 ● 参加だけでなく、主導していく人を増やす・育てる。 ● 自治会の活動を発信する（ネットを使う）。
行政等	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通の利便性向上。 ● 行政主導のコミュニティづくり。 ● 市民団体検索サービス。 ● 役所や商工会などがコミュニティ紹介をもっとする。 ● 行政でしていることの発信。（公式ハッシュタグ）。 ● お年寄りへのネット使い方講座（訪問制）。
条件	<ul style="list-style-type: none"> ● 出入りしやすいコミュニティが増える。 ● 今日の懇談会のように誰でも参加しやすい条件のコミュニティにする。 ● 必要とする人が必要とするタイミングでサービスが行き届けばいい。情報を明確に、SNS等活用。 ● 公民のバランス。行政の役割と民間の役割を明確にしてみる。